

「ふじのくに多文化共生推進基本計画」進捗評価

1 評価の概要

「ふじのくに多文化共生推進基本計画（以下、基本計画）」の進捗の指標として設定されている数値目標について、県総合計画の評価手法に準じて評価を行う。（2023年4月時点）

2 総合評価

2022年度は、「言葉の壁のない静岡県」の実現のために「やさしい日本語」の普及活用と地域日本語教育体制の構築に重点的に取り組んだ。

また、SNS等によりやさしい日本語と多言語で、新型コロナウイルス感染症関連の情報や防災関連、生活情報などの情報提供を行ったほか、災害に備え、外国人県民向け防災講座や災害時多言語支援センターの設置運営訓練等を実施した。

外国人県民の生活上の相談に多言語で対応する「静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ」には前年比約20%増、過去最多の年間2,500件以上の相談が寄せられ、外国人相談の重要性が高まっている。

外国人の子どもの教育については、外国人学校に通う生徒に対して、卒業後の正規雇用による就職を目指し、日本語教育・キャリア教育・職業体験を実施した。

成果指標は、2指標ともBとなった。活動指標は9指標のうち3項目が◎で、4項目が○、2項目が●となった。おおむね計画どおり進捗していると評価する。

3 「施策の方向性」別の評価

(1) 成果指標

項目		目標値以上	A	B	C	基準値以下
共通	1 多文化共生意識の定着 2 コミュニケーション支援	—	—	1	—	—
安心	3 危機管理体制の強化 4 生活支援の充実	—	—	—	—	—
活躍	5 外国人の子どもの教育環境の整備 6 社会参画の促進 7 働きやすい環境の整備	—	—	1	—	—
計		—	—	2	—	—

(2) 活動指標

項目		◎	○	●	—
共通	1 多文化共生意識の定着 2 コミュニケーション支援	—	1	—	—
安心	3 危機管理体制の強化 4 生活支援の充実	2	1	1	—
活躍	5 外国人の子どもの教育環境の整備 6 社会参画の促進 7 働きやすい環境の整備	1	2	1	—
計		3	4	2	—

(3) 各指標の達成状況区分

■成果指標

評価区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの

■活動指標

評価区分	判断基準	
	数値目標	維持目標
◎	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの	「現状値」が「目標値」の115%以上のもの
○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの	「現状値」が「目標値」の85%以上115%未満のもの
●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
—	計値等発表前、当該年度に調査なし等	